

エ) 診療科情報設定画面

メンテナンス

診療科情報の設定

施設独自の診療科		JANISコード	
診療科	名称	コード	名称
121	第2外科	200	外科
101	循環器内科第一	101	循環器内科
102	神経内科	102	神経内科
103	呼吸器科	103	呼吸器内科
104	消化器内科	104	消化器内科
105	胃腸科	105	胃腸科
106	内分泌・代謝内科	106	内分泌・代謝内科
107	腎臓内科	107	腎臓内科
108	糖尿病内科	108	糖尿病内科
109	アレルギー・膠原病内科	109	アレルギー・膠原病内科
110	膠原病内科	110	膠原病内科
111	アレルギー内科	111	アレルギー内科

本画面では、自施設内の診療科設定内容と JANIS での診療科コードの対応について設定します。

- i) 「追加」ボタンを押下すると、下の画面が表示されるので当該診療科コードおよび診療科名を入力し、それに対応する JANIS コードをプルダウンから選択して「登録」ボタンを押下します。

診療科コードの登録

診療科コード登録

診療科コード

診療科名

JANIS 診療科

- ii) 「更新」ボタンを押下すると、一覧表示中で選択された内容が上の“診療科コードの登録”画面内に表示されるので、適宜修正した後に「登録」ボタンを押下します。
- iii) 「削除」ボタンを押下すると、一覧表示中で選択された内容が診療科情報が削除されます。
- iv) 「閉じる」ボタンを押下すると、この画面を閉じます。

オ) マップ用病棟情報設定画面

メンテナンス

感染状況マップ用・病棟情報設定

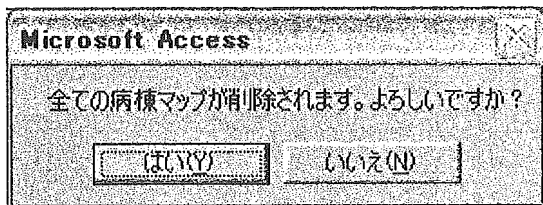
x軸:病棟数 / y軸:階数

	01	02	03	04	05	06	07	08
11	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
10	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
09	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
08	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
07	K30	K30	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
06	K40	K40	K40	K40	K40	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
05	K30	K45	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
04	K30	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
03	K30	K30	<input type="text"/>	K30	K40	K30	K50	<input type="text"/>
02	K30	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
01	K20	K60	K60	K30	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

初期化 プレビュー 閉じる

本画面では、感染状況マップで表示する各病棟の位置情報について設定します。

- i) 縦軸を階層、横軸をフロア内にある病棟として、プルダウン表示される（病棟情報設定画面で設定した）病棟から選択します。
- ii) 「初期化」ボタンを押下すると下の画面が表示され、“はい(Y)”を選択すると本画面内の設定内容がすべて消去され、“いいえ(N)”を選択すると下の画面を閉じます。



iii) 「プレビュー」ボタンを押下すると、下のように設定内容でのイメージ画面を表示します。

院内感染状況マップ

2005/01/11 カレンダー

病棟名 患者数

表示内容: K20 5
2 2 3 1 2
発熱 発疹 下痢 問題菌 起因菌

11F

10F

09F

08F

07F K30 K30

06F K40 K40 K40 K40 K40

05F K30 K45

04F K30 K110

03F K30 K30 K30 K40 K30 K50

02F K30

01F K20 K60 K60 K30

閉じる

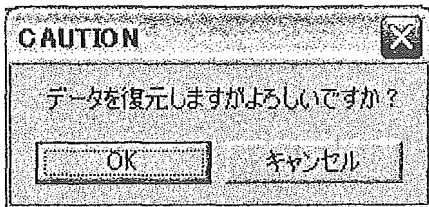
iv) 「閉じる」ボタンを押下すると、この画面を閉じます。

か) 削除データ復元画面

メンテナンス							
削除データの復元							
送信者識別	検査所識別	検体番号	ID	カルテ番号	カナ氏名	検体提出日	
10001	13005	10001000000000000765	6757976691	6757976691	山田花子	2000/07/14	<input type="button" value="データ復元"/> <input type="button" value="完全削除"/>
10001	13005	10001000000000000766	6757976691	6757976691	山田花子	2000/07/19	<input type="button" value="データ復元"/> <input type="button" value="完全削除"/>
10001	13005	10001000000000000767	6757976691	6757976691	山田花子	2000/07/19	<input type="button" value="データ復元"/> <input type="button" value="完全削除"/>
10001	13005	10001000000000000768	6757976691	6757976691	山田花子	2000/07/01	<input type="button" value="データ復元"/> <input type="button" value="完全削除"/>
10001	13005	10001000000000000769	6757976691	6757976691	山田花子	2000/07/11	<input type="button" value="データ復元"/> <input type="button" value="完全削除"/>
10001	13005	10001000000000000770	6757976691	6757976691	山田花子	2000/07/01	<input type="button" value="データ復元"/> <input type="button" value="完全削除"/>
99999	0002	123456789					<input type="button" value="データ復元"/> <input type="button" value="完全削除"/>

本画面では、検査データ修正画面において削除したデータの復元と削除を行います。

- i) 「データ復元」ボタンを押下すると下の確認画面が表示され、「OK」を選択すると一覧表示上で選択したレコードが復元され、「キャンセル」を選択すると下の画面を閉じます。



- ii) 「完全削除」ボタンを押下すると下の確認画面が表示され、「OK」を選択すると一覧表示上で選択したレコードが削除され、「キャンセル」を選択すると下の画面を閉じます。



※ただし、この完全削除処理ではパスワード入力による保護を行っております。(このパスワードについては別途お尋ねください)

- iii) 各一覧表示のタイトル部をクリックすると、その都度当該項目における昇順、降順に並び替えます。
- iv) 「戻る」ボタンを押下すると、この画面を閉じます。

き) システム内コードの更新画面

メンテナンス	
システム内コードの更新	
コードファイルを指定してください	
ファイル名	<input type="text"/>
<input type="button" value="実行"/> <input type="button" value="閉じる"/>	

本画面では、このシステム内部で使用している各種コード表の更新を行います。

- i) “ファイル名” 欄をクリックすることにより表示される“ファイルを開く”画面で、当該データファイルを指定して「実行」ボタンを押下すると、更新処理が開始されます。
この処理が必要な場合や当該データファイルについては、別途受託業者から連絡されます。
- ii) 「閉じる」ボタンを押下すると、この画面を閉じます。

3. 問い合わせ

システムに不具合が生じた場合など、以下までお問い合わせください。

〒111-0041

東京都台東区元浅草二丁目 6-6 東京日産台東ビル 9F

フィンガルリンク株式会社 システムプランニング事業部

TEL:03-5806-9883 FAX:03-3841-2956

E-mail : sp-info@finggal-link.com

中小規模病院・感染監視システム

院内機能操作手順書

(Ver.1.20)

2005年10月

1.	概要	3
2.	ご注意	3
I.	画面構成について	3
II.	動作環境	3
3.	システムの起動と終了	4
I.	院内機能プログラムの起動	4
II.	院内機能プログラムの終了	4
4.	各画面の機能	5
I.	メニュー画面	5
II.	日計表入力画面	5
III.	検査データ解析画面	6
IV.	菌異常集積画面	7
V.	集計オプション画面	8
VI.	菌異常集積 集計画面	11
VII.	PDI 選択メニュー画面	15
VIII.	PDI データ解析画面	16
IX.	感染状況マップ画面	17
X.	年間推移表画面	18
XI.	集計表メニュー画面	19
XII.	検査データ修正画面	20
XIII.	詳細入力画面 (患者基本データ)	22
XIV.	詳細入力画面 (感染症データ)	23
XV.	詳細入力画面 (抗菌薬データ)	24
XVI.	詳細入力画面 (基礎疾患に関するデータ)	25
XVII.	詳細入力画面 (デバイスデータ)	26
XVIII.	詳細入力画面 (検体データ)	27
XIX.	詳細入力画面 (菌データ)	28
XX.	詳細入力画面 (退院サマリデータ)	29
XXI.	詳細入力画面 (予備領域拡張)	30
XXII.	詳細入力画面 (検査項目)	31
XXIII. K)	詳細入力画面 (データの由来)	31
XXIV.	メンテナンス画面	32
XXV.	施設情報登録画面	33
XXVI.	検査データ上書禁止設定画面	34
XXVII.	病棟情報設定画面	35
XXVIII.	診療科情報設定画面	36
XXIX.	マップ用病棟情報設定画面	37
XXX.	削除データ復元画面	39
XXXI.	システム内コードの更新画面	40
5.	問い合わせ	40

1. 概要

- ① 本システムは、全国サーベイランスの対象となっていない中小規模(100～200 床)の病院を対象に、検査室をコントロールタワーとした効率の良い院内感染サーベイランスシステムを構築し、病院内スタッフの院内感染に対する知識や対応などのレベルアップを図ることを目的とする。
- ② 検査会社での検査結果データを同社内 PC に保存すると、病院内の本システムから取得して内容のチェックを行いDBに取り込む処理を自動的に実施する。この際のエラー情報なども、取り込み結果として検査会社内 PC に自動的に保存する。(自動入力機能)
- ③ 前項により取り込んだ検査結果データを閲覧または修正することができ、日計表データなどを補完することにより、各種の解析表等を表示、印刷できる。(院内機能)

2. ご注意

I. 画面構成について

- ・ ご利用のシステム装置により、画面構成等が異なる場合があります。詳細はご利用機器のマニュアル等を参照願います。

II. 動作環境

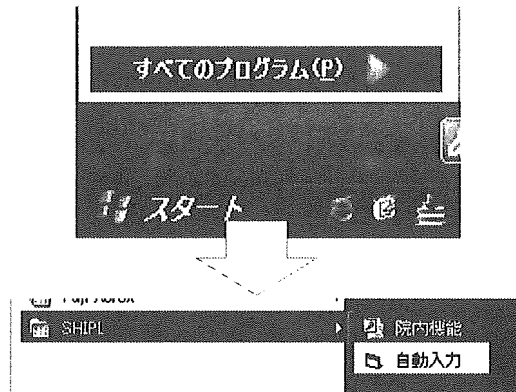
本システムの動作環境として、以下のシステムが必要となります。

- ・ システム装置(Microsoft Windows 対応)
- ・ オペレーティングシステム(Windows2000Server 推奨)
- ・ Microsoft SQLserver2000
- ・ Microsoft Access2003
- ・ Microsoft Excel2003

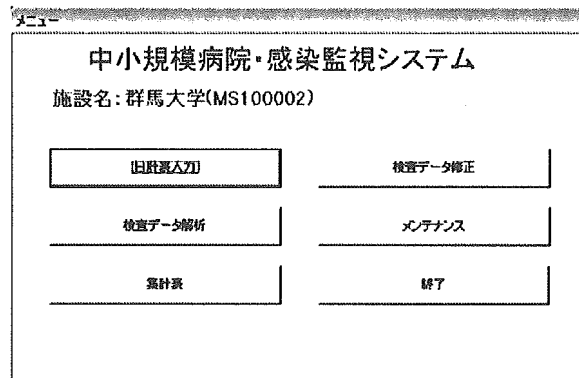
3. システムの起動と終了

I. 院内機能プログラムの起動

- ① 「スタート」メニューより「すべてのプログラム(P)」を選択し、一覧より「SHIPL」→「院内機能」を選択します。



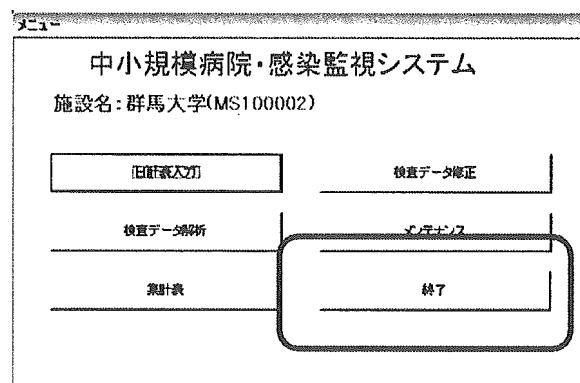
- ② メニュー画面が表示されます。



※施設名欄に「施設コードが未登録です」の表示が出る場合は、検査データ自動入力プログラムでの施設情報設定を行うか、または「メンテナンス」、「施設情報登録」から当該施設の選択/設定を行ってください。
 検査データ自動入力プログラムでの施設情報設定については、自動入力機能操作説明書・P.4の(カ)項目を参照してください。

II. 院内機能プログラムの終了

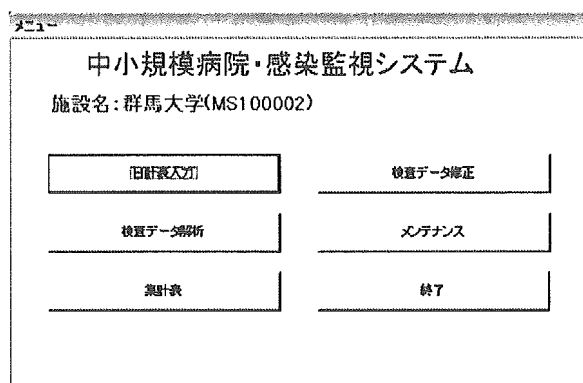
- メニュー画面より、「終了」ボタンをクリックします。



4. 各画面の機能

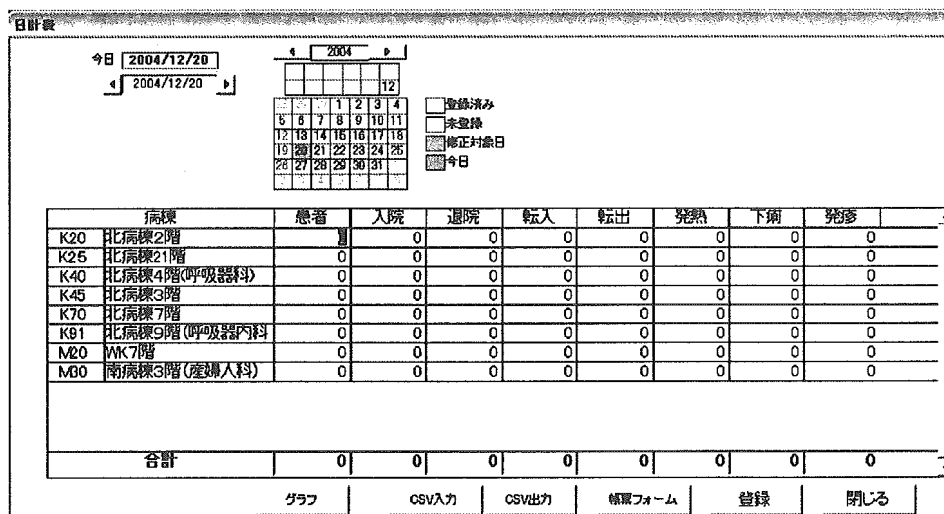
I. メニュー画面

メニュー画面の各機能は以下の通りとなります。



- ・「日計表入力」ボタンを押下すると、日計表入力画面が表示されます。
- ・「検査データ解析」ボタンを押下すると、検査データ解析画面が表示されます。
- ・「集計表」ボタンを押下すると、集計表メニュー画面が表示されます。
- ・「検査データ修正」ボタンを押下すると、検索画面が表示されます。
- ・「メンテナンス」ボタンを押下すると、メンテナンス画面が表示されます。

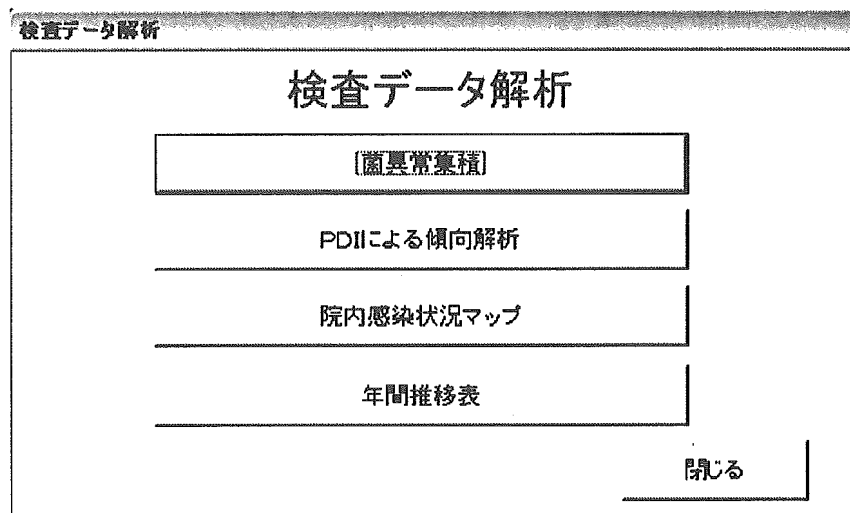
II. 日計表入力画面



- ① 「今日」欄とその直下に、処理当日の日付が表示されます。
「今日」欄直下の表示は左右のボタンにより前日、翌日に変更でき、その操作に応じて画面内の各表示が更新されます。
- ② カレンダー上部に、処理当日の日付を基にした年、月が表示され、カレンダーには当該月の日計表データ入力の有無が日ごとに表示されます。
 - i) 年表示の左右のボタンにより前年、翌年に変更できます。
 - ii) 月表示では、各欄をクリックすると当該月に変更できます。
 - iii) カレンダー表示では、各欄をクリックすることにより日付を変更でき、前月または翌月に相当する日付欄をクリックすると当該月表示に変更することができます。

- ③ 日計表欄には、別途登録した病棟ごとに患者数、入院患者数、退院患者数、転入患者数、転出患者数、および発熱患者数、下痢患者数、発疹患者数とその各院内合計が表示されます。
- ④ 「グラフ」ボタンを押下すると、過去2週間の入院患者数、発熱患者数、下痢患者数、発疹患者数の推移を病棟ごとにグラフ描画します。また、グラフ表示内の「印刷」ボタンを押下すると、「通常使うプリンタに設定」しているプリンタに印刷出力します。
- ⑤ 「CSV入力」ボタンを押下すると、別紙日計表ファイルフォーマットのデータファイルの内容を取り込むことができます。
- ⑥ 「CSV出力」ボタンを押下すると、別紙日計表ファイルフォーマットに従って、入力済みのデータ内容をCSVファイルに書き出すことができます。
- ⑦ 「帳票フォーム」ボタンを押下すると、上記画面に表示した内容を日計表として印刷するためのプレビューが表示され、「印刷」ボタンを押下すると「通常使うプリンタに設定」しているプリンタに印刷出力します。
- ⑧ 「登録」ボタンを押下すると、「変更内容を登録しますがよろしいですか」の確認画面が表示され、「OK」、「キャンセル」ボタンによりそれぞれ登録、または取り消されます。
- ⑨ 「閉じる」ボタンを押下すると、「変更内容を無効にしますがよろしいですか」の確認画面が表示され、「OK」、「キャンセル」ボタンによりそれぞれ変更内容を無効にして画面を閉じる、または取り消されます。

III. 検査データ解析画面



- ① 「菌異常集積」ボタンを押下すると、菌異常集積画面が表示されます。
- ② 「PDIによる傾向解析」ボタンを押下すると、PDI選択メニュー画面が表示されます。
- ③ 「院内感染状況マップ」ボタンを押下すると、感染状況マップ画面が表示されます。
- ④ 「年間推移表」ボタンを押下すると、年間推移表画面が表示されます。
- ⑤ 「閉じる」ボタンを押下すると、この画面を閉じます。

IV. 菌異常集積画面

菌異常集積

BLR名称	集積単位	集計単位	病棟	解析日	期間	菌	菌名	BLR	試行	発生	確率	LEVEL
Default	患者単位	7日間	病院全体	2005/07/10	2005/06/27~2005/07/03	1114	Streptococcus agalactiae	0.00769	3	2	0.0001766571	LEVEL3
Default	患者単位	7日間	病院全体	2005/07/10	2005/06/27~2005/07/03	1301	Staphylococcus aureus	0.03000	3	2	0.0026460000	LEVEL2
Default	患者単位	7日間	病院全体	2005/07/10	2005/06/27~2005/07/03	5200	Bifidobacterium sp	0.00013	3	1	0.0003940492	LEVEL3
Default	患者単位	7日間	病院全体	2005/07/10	2005/06/27~2005/07/03	5650	Fusobacterium sp	0.00062	3	1	0.0018567600	LEVEL2
Default	患者単位	14日間	病院全体	2005/07/10	2005/06/20~2005/07/03	1114	Streptococcus agalactiae	0.00769	6	2	0.0006699703	LEVEL3
Default	患者単位	14日間	病院全体	2005/07/10	2005/06/20~2005/07/03	1301	Staphylococcus aureus	0.03000	6	3	0.0005041175	LEVEL3
Default	患者単位	14日間	病院全体	2005/07/10	2005/06/20~2005/07/03	1312	Staphylococcus epidermidis	0.03000	6	3	0.0005041175	LEVEL3
Default	患者単位	14日間	病院全体	2005/07/10	2005/06/20~2005/07/03	6200	Bifidobacterium sp	0.00013	6	2	0.0000002698	LEVEL3
Default	患者単位	14日間	病院全体	2005/07/10	2005/06/20~2005/07/03	5650	Fusobacterium sp	0.00062	6	2	0.0000067405	LEVEL3
Default	患者単位	30日間	病院全体	2005/07/10	2005/06/04~2005/07/03	1114	Streptococcus agalactiae	0.00769	17	4	0.0000376394	LEVEL3
Default	患者単位	30日間	病院全体	2005/07/10	2005/06/04~2005/07/03	1301	Staphylococcus aureus	0.03000	17	7	0.0000000262	LEVEL3
Default	患者単位	30日間	病院全体	2005/07/10	2005/06/04~2005/07/03	2100	Serratia sp	0.00004	17	1	0.0006378745	LEVEL3
Default	患者単位	30日間	病院全体	2005/07/10	2005/06/04~2005/07/03	5052	Clostridium perfringens	0.00002	17	1	0.0001109660	LEVEL3

検索条件

集積単位
 患者単位
 検体単位
 JANIS
※ JANIS 準拠
30日間の同一患者は
すべて1データとして
扱う

集計単位
 7日間
 14日間
 30日間

日付
 開始日 2005/07/10
 終了日 2005/07/10
 開始日~終了日を
 解析日とする

病棟
 クリア

BaseLineRate
 DEFAULT
 クリア

ソート順
 BLR名称
 集積単位
 集計単位
 病棟
 解析日
 期間
 菌
 クリア

検索
 CSV出力
 Option設定
 集積計算
 閉じる

- ① 一覧には、自動集計日次処理または本画面内の「手動集計」ボタン押下による随時処理で集計された内容から、BLR 名称、集積単位、集計単位、病棟、解析日、期間、菌(菌コード)、菌名、BLR(BaseLineRate)、試行(患者単位:総患者数、検体単位:総検体数、JANIS:JANIS準拠による重複排除処理を行った総患者・検査材料数)、発生(患者単位:菌陽性患者数、検体単位:菌陽性検体数、JANIS:JANIS 準拠による重複排除処理を行った菌陽性患者・検査材料数)、確率、LEVEL が表示されます。
- ② 検索条件として「集計単位」「集積単位」「LEVEL」「病棟」「BaseLineRate」からそれぞれ選択し、一覧に表示する対象の開始日、終了日、その期間の対象を「解析日」「集計開始日」「集計終了日」「集計期間内」から選択、設定する事ができます。ソート順を指定した後「検索」ボタンをクリックする事で、該当するデータを一覧に表示することができます。
- ③ 「CSV出力」ボタンを押下すると、一覧に表示している内容を CSV ファイルとして出力することができます。
- ④ 「集積計算」ボタンを押下すると、「菌異常集積 集計画面」が表示されます。
- ⑤ 「Option 設定」ボタンを押下すると、「集計オプション画面」が表示されます。
- ⑥ 「閉じる」ボタンを押下すると、本画面を閉じて検査データ解析画面に戻ります。

※病棟及び BaseLineRate の選択方法

検索条件の「病棟」「BaseLineRate」は、ドロップダウンリスト内より複数選択可能です。何も選択されていない場合、選択対象はそれぞれ全ての病棟、全ての BaseLineRate となります。ドロップダウンリストより選択を行うと、それぞれリストに登録されます。リストに登録されている病棟(あるいは BaseLineRate)が、検索条件となります。「クリア」ボタンを押下することで、検索条件を消去できます。またはリストをクリックする事で、対象を削除することができます。

※ソート順の設定方法

病棟、BaseLineRate と同様に、ドロップダウンリスト内より出力項目を選択します。リストの上位が検索条件の上位となり、それぞれを昇順でソートします。また、出力項目のラベルをクリックすることで、ボタンがくぼみ状態となります。くぼみ状態の項目に関しましては、ソートが降順となります。

V. 集計オプション画面

① 警告レベルの設定

「警告レベル1」から「警告レベル3」までに数値を入力することにより、一覧表示での LEVEL1 から LEVEL3 での集計、表示となります。各値は初期値として、0.01、0.005、0.001となっています。各値を変更し、「LEVEL 設定」押下により、全データに反映されます。

② BaseLineRate の作成

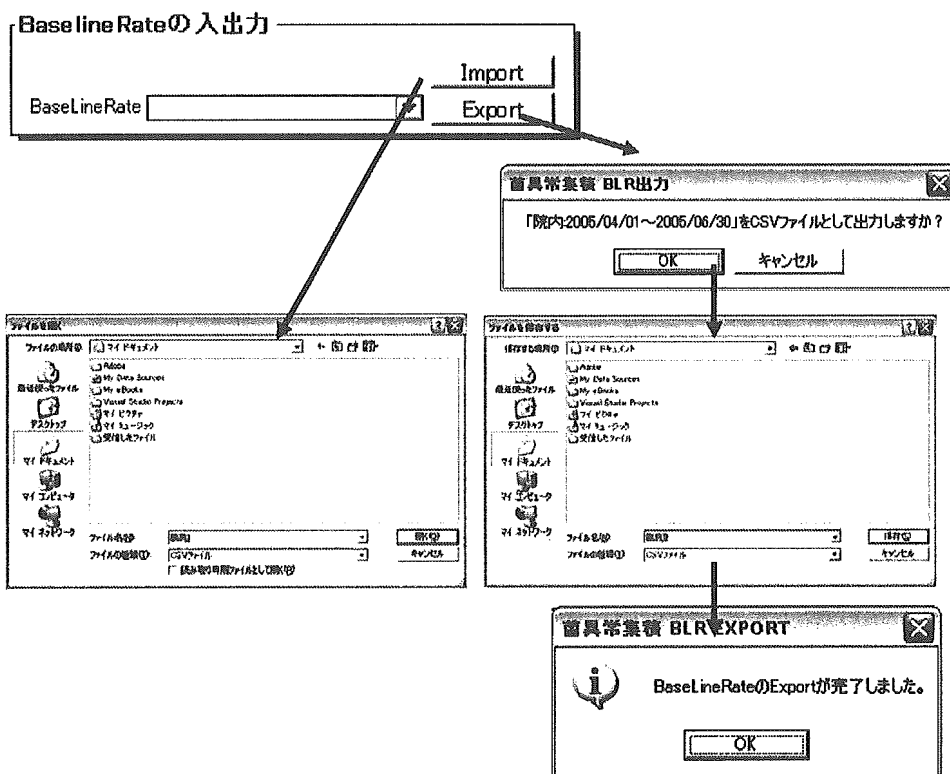
本システム内部に保存されたデータより BaseLineRate を作成します。開始日、終了日にはそれぞれ「検体提出日」の最小、最大の日付が設定されています。それぞれ任意の日付を設定し、「BLR 名称」「備考」を入力した上で「作成」ボタンを押下します。

③ BaseLineRate の入出力

BaseLineRate の Import、Export を行います。

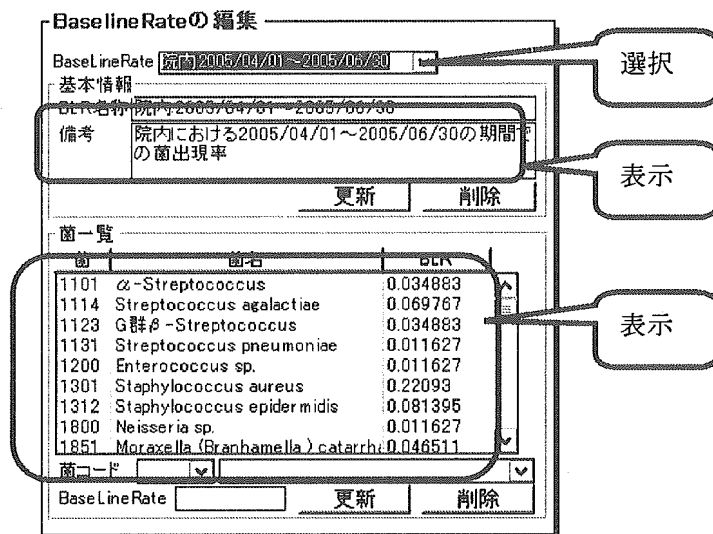
「Import」ボタンを押下すると、「ファイルを開く」ダイアログが表示されますので、該当ファイルを選択して「開く(O)」ボタンを押下します。ファイルの情報をチェックし、エラーがある場合はエラーを表示、エラーのない場合は新しい「BaseLineRate」として登録されます。登録されたBaseLineRateは、次回集計時より菌異常集積での集計対象となります。過去のデータに関しましては集計対象となりません。「菌異常集積 再集計画面」より、該当のBaseLineRateの再集計を行う必要があります。

「Export」の場合は、該当する「BaseLineRate」を選択し、「Export」ボタンを押下します。ファイル出力のメッセージが表示されますので「OK」を押下すると「ファイルを保存する」ダイアログが表示されますので、ファイル名と保存場所を設定し、「保存(S)」を押下してください。メッセージが表示され、ファイルが保存されます。



④ BaseLineRate の編集

現在登録されているBaseLineRateの編集を行います。登録済みのBaseLineRateを選択することで、その内容が表示されます。※Importあるいは作成を行ったBaseLineRateのみ編集を行うことができます。



基本情報の「BLR 名称」「備考」を修正し、直下の「更新」ボタンを押下することで、基本情報の更新を行うことができます。BaseLineRate が選択された状態で「削除」ボタンをクリックすると、該当のBaseLineRateに関する情報が全て削除されます。すでに集計済みの結果に関しても同様に削除されますのでご注意ください。

菌一覧より菌を選択することで、菌コードとBaseLineRateが表示されます。BaseLineRateを修正し、画面下部の「更新」ボタンを押下することで、該当の菌コードに関するBaseLineRateが更新されます。また、設定した菌コードの登録がない場合、新規で該当の菌コードに対するBaseLineRateの登録を行うことができます。また、菌コードが選択された状態で「削除」ボタンをクリックすると、該当の菌コードが削除されます。

VI. 菌異常集積 集計画面

菌異常集積 集計日指定

集計期間を指定 設定

集計日数: 0

対象日削除

集計日を指定 集計済み
 未集計
 集計対象日

2005 | 10 |

月	火	水	木	金	土	日
26	27	28	29	30	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	1	2	3	4	5	6

BaseLineRate

菌集積 集計

確率 集計

閉じる

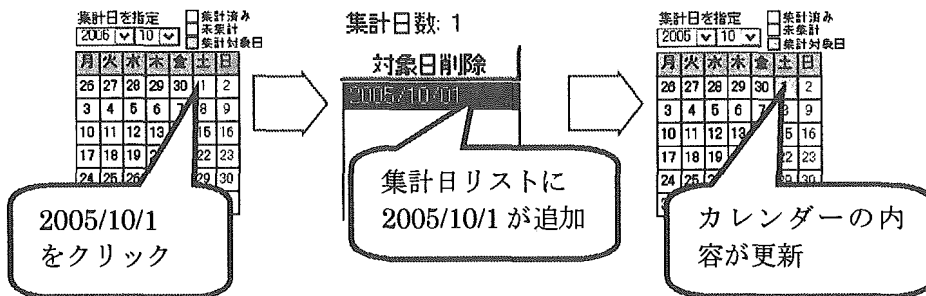
① カレンダー機能 集計日の追加

指定の月と、その月における集計状況を表示します。集計日を指定の項目で、年、月を指定します。年に関しまして、検体データが入力されている範囲で選択可能です。「集計済み」「未集計」「現在集計対象」として選択されている「集計対象日」がそれぞれ色分けで表示されます。

集計日を指定 集計済み
 未集計
 集計対象日

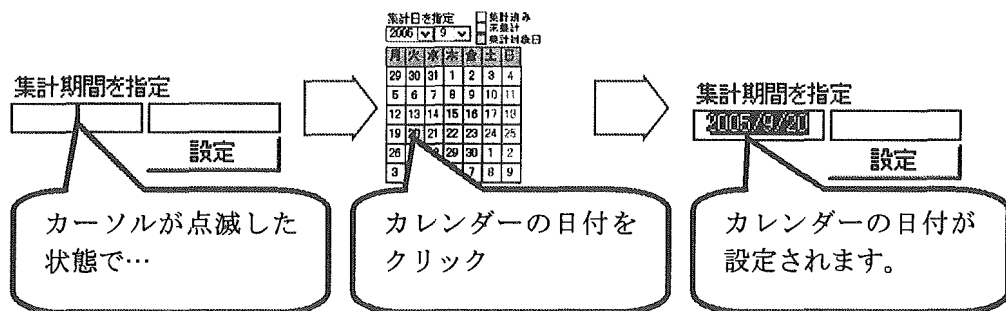
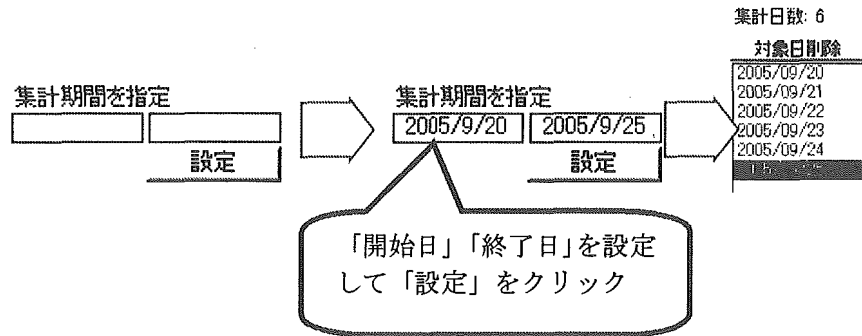
2005 | 10 |

「年」「月」をドロップダウンより選択すると、該当の年月へカレンダーの表示が変更されます。集計対象の日付をクリックすることで、日付が集計日リストへ登録されます。



② カレンダー機能 集計日の範囲指定

「集計期間を指定」の項目へそれぞれ「開始日」「終了日」を指定して「設定」ボタンをクリックする事で、対象の期間が「集計日リスト」へ設定されます。設定の際、事前に登録されていた日付は削除されますのでご注意ください。また、期間を設定した後であれば、個別の日付をカレンダーから追加することは可能です。「開始日」「終了日」の設定は、それぞれが入力可能な状態でカレンダーの日付を指定すると、該当の日付がセットされます。

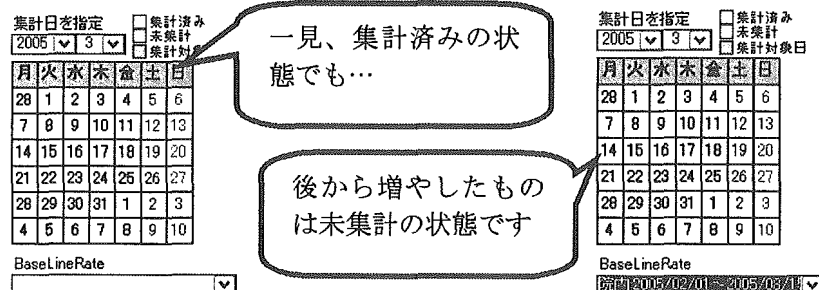


③ 集計日の削除

集計日リストに登録された日付を削除します。該当の1日を削除する場合、リストより該当日をダブルクリックします。また、全ての日付を消去する場合は、リスト上部の「対象日削除」ボタンをクリックします。

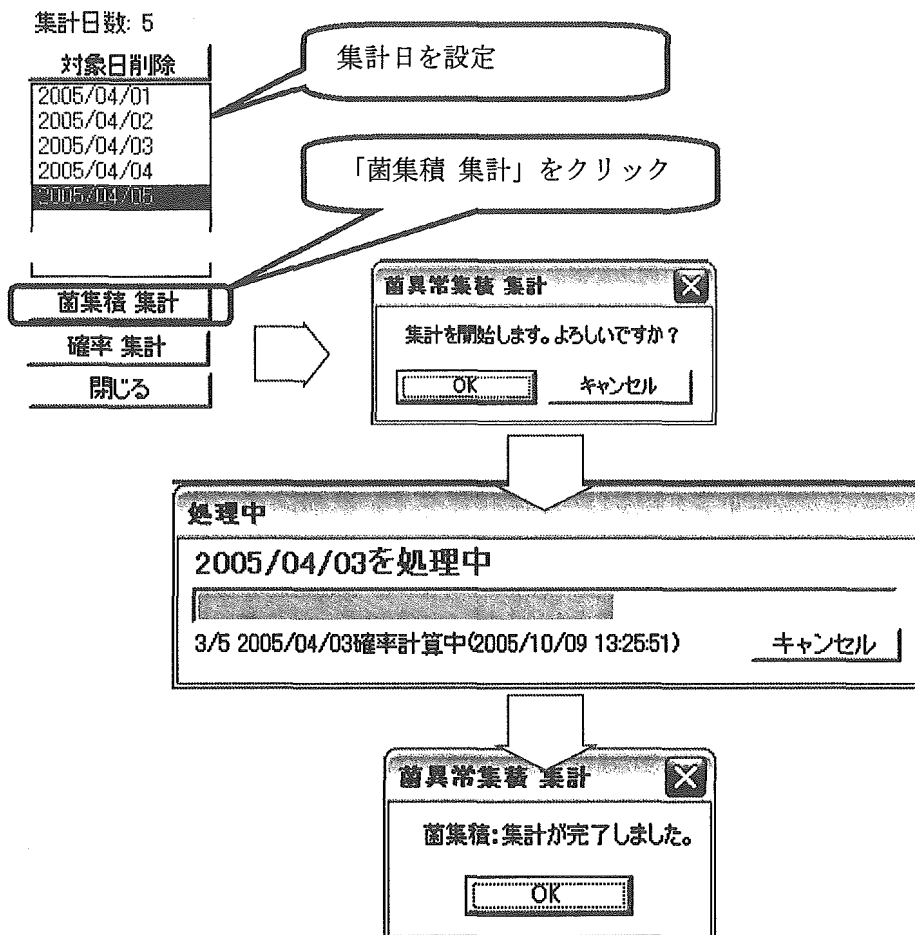
④ カレンダー機能 BaseLineRate の集計状況確認

菌異常集積の計算は、登録された全ての BaseLineRate について計算を行いますが、BaseLineRate の作成や追加により新たに登録された BaseLineRate については、過去の集計が未完の状態です。画面下部の「BaseLineRate」から、登録されている BaseLineRate 名を選択すると、カレンダーの表示が、その BaseLineRate の計算についての状態に変更されます。



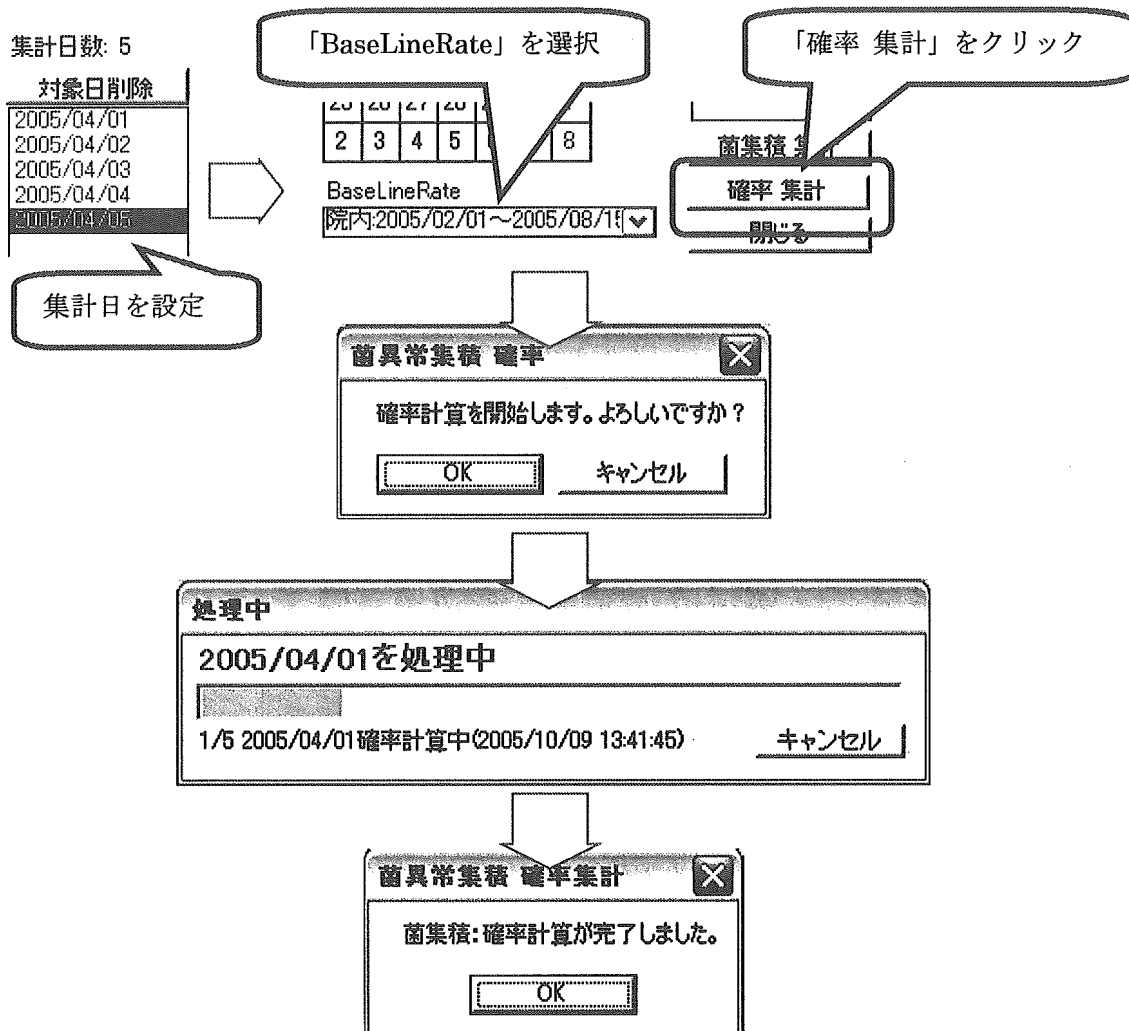
⑤ 集計(全集計)

菌異常集積の集計を行います。BaseLineRate 毎の集計もできますが、通常はこちらの集計を行います。対象の日付を選択し、「菌集積 集計」ボタンをクリックすると、確認のダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、集計処理を開始します。集計中は「処理中」のダイアログが表示されます。プログレスバーが右端まで来ると処理が終了です。処理状況の目安となります。また、ダイアログ下部には現在の処理を表示しています。左端には現在の件数(処理件数/全件数)と処理中の日付が表示され、一日分の処理は、「集積計算」→「確率計算」→「レベル設定」→「終了(次の日の処理へ)」となります。
また、本日分の処理は集積計算を行うことができません。



⑥ 集計(該当 BaseLineRate の確率のみ計算)

BaseLineRate を作成した場合や、Import、あるいは修正などを行った場合、その結果は集計には反映されていません。該当の BaseLineRate の確率計算を行う必要があります。全集計と異なり、該当の BaseLineRate の計算のみ行いますので、全集計より処理時間が短くすみます。全集計と同様に、まず集計を行う日付を指定します。次に、BaseLineRate の選択を行い「確率 集計」ボタンをクリックします。以降は全集計と同様となります。



VII. PDI選択メニュー画面

PDIによる傾向解析	
PDI解析	
集計開始日の指定	集計単位の指定
開始日 <input type="text" value="2004/10/05"/>	<input type="radio"/> 1週間 <input type="radio"/> 2週間 <input type="radio"/> 1ヶ月
条件の指定 <small>【菌名】【検査材料】はダブルクリックすることで、複数個の選択指定ができます。(指定しない場合は、全件出力されます。)</small>	
病棟 <input type="text"/>	<input type="text"/>
診療科 <input type="text"/>	<input type="text"/>
菌名 <input type="text"/>	検査材料 <input type="text"/>
<small>ここをダブルクリックして下さい</small>	<small>ここをダブルクリックして下さい</small>
出力項目の指定	<input type="text" value="菌数"/>
<input type="button" value="計算開始"/> <input type="button" value="閉じる"/>	

- ① 「開始日」欄には、本 PDI 解析の集計開始日をカレンダー画面から選択入力します。
- ② 「集計単位の指定」欄では、「開始日」から起算した集計の期間を「1週間」、「2週間」、「1ヶ月」から選択します。
- ③ 「条件の指定」欄では、「病棟」、「診療科」、「菌名」、「検査材料」から当該集計での対象とする菌や検査材料を選択します。
- ④ 「出力項目の指定」欄では、「菌数」、「陽性患者数」、「発熱」、「発疹」、「下痢」から集計の対象を選択します。
- ⑤ 「計算開始」ボタンを押下すると、上記により選択、指定された内容で集計処理を行い、PDI データ解析画面が表示されます。
- ⑥ 「閉じる」ボタンを押下すると、本画面を閉じて検査データ解析画面に戻ります。